

KEEP 20 TEETH TILL YOUR 80



ハチマルニイマル  
8020運動

80歳で20本以上の自分の歯を保ちましょう

# 廣齒連盟ニュース

## HIROSHIRENMEI NEWS

平成25年1月28日  
第153号

発行所 広島県歯科医師連盟  
広島市中区宝町5-30 TEL (082) 241-8020  
ホームページ http://hpddf.jp  
編集兼発行人 榎田 博昭



# 賀正

平成二十五年  
広島県歯科医師連盟

写真：「地御前の夜明け」  
廣齒連盟員 大石正昭氏 (中取)

## 年頭所感

広島県歯科医師連盟  
会長 山科 透



新年あけましておめでとございます。

連盟員の先生方におかれましては、ご家族お揃いでお健やかな新春をお迎えのことと存じお慶び申しあげます。

民主党が政権を担っていた3年余の間、マニーフエストを實行できないばかりか、内政・外交において迷走に迷走を重ねた挙句、現在の危機的状況を迎えたことは周知のとおりです。然しながら、

昨年末の衆議院総選挙によって誕生した新しい安倍総理を中心とした政府には、低迷している経済状態からの回復、尖閣諸島をはじめとする近隣諸国との複雑な問題の解決を含んだ外交、東日本大震災からの完全復旧、更には学校・教育の問題等々、山積する諸問題を解決すべく、責任ある信頼できる政治をもって安定した政権運営に大いに期待を寄せているところでありました。

また、今年7月には参議院選挙が控えております。ご存知のとおり、我々は石井みどり参議院議員を職域代表候補として支援していくことが決定しております。歯科医師の業権確保のために

も、連盟はもとより本会としても全力を挙げて高位置を果たすべく、力を一つにして来るべき夏の参議院選挙に臨みたいと思っております。

さて、歯科界に目を向けてみれば、本県において、一昨年3月14日に施行された「広島県歯と口腔の健康づくり推進条例」並びに、同年8月10日には石井みどり議員が中心となって取り組んできた「歯科口腔保健の推進に関する法律」が施行されたことを受け、全国に先駆けて広島県庁内に「広島県口腔保健支援センター」が設置され、県民への歯科保健の普及啓発や情報発信を行う拠点となりました。

これを受けて、従来の「8020推進会議」を拡大し、「歯と口腔の健康づくり推進協議会」を新たに設置し、県民の口腔の健康づくりに係る各種団体の役割を明らかにして、総合的に歯科保健対策を推進し、計画策定に向けた協議を行っているところでもあります。

また、昨年4月の診療報酬改定で、がん患者等の周術期における歯科医師の包括的な口腔機能の管理等を評価した「周術期口腔管理」が医療保険に導入されましたが、本県ではいち早く平成20年からがん診療連携拠点病院と連携して、がん患者への口腔管理を積極的に行う「がん患者の口腔機能管理モデル事業」を展開しており、今後、より強固な歯科連携体制を構築していくこととされています。

また、平成19年より取り組んでおります「歯周病と糖尿病に関する調査・研究事業（E-cosmos）」

## 2013年 新年所感

参議院議員 石井みどり



新年明けましておめでとございます。

先生方にとりまして佳き年となりますよう、お祈り申し上げます。また、平素より格別のご指導、ご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

私も先生方に国会の場へ送り出さしていただいております。本年が1期6年間の節目の年となりました。先生方のご指導の下、歯科界の更なる発展のために働いてまいります。

昨年は歯科界にとつて実り多き年であったと言え、私もその一翼を担うべく活動を行ってまいりました。以下、簡略ながら昨年1年の国政での動きを述べさせていただきます。

### 歯科口腔保健法制定後の動き

歯科口腔保健法成立により、昨年は様々な動きが現れました。昨年3月30日には厚生労働省医政局長名で、歯科分野につき多くの項目が明示された「医療計画について」通知が発出されました。6月20日には第2次健康日本21改正案が了承され、運動目標に「口腔」の文言を追加し、「歯・口腔」とすることができまし

た。7月23日には「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」が大臣告示されました。基本的事項の制定により、概算要求・地方の具体的施策が今後の課題となります。

### 国会質問

昨年4月4日には予算委員会にて野田政権の基本姿勢について質問しました。

現政府の政策決定においては前提となるデータの収集が不足しているため、社会保障政策において最新のデータ・裏付けが必要な旨質問を行い、さらに医療費適正化について、某健保組合の調査において、歯周疾患の有無や歯科健診の実施によって歯科の年間医療費に

「8020推進会議」を拡大し、「歯と口腔の健康づくり推進協議会」を新たに設置し、県民の口腔の健康づくりに係る各種団体の役割を明らかにして、総合的に歯科保健対策を推進し、計画策定に向けた協議を行っているところでもあります。

また、平成19年より取り組んでおります「歯周病と糖尿病に関する調査・研究事業（E-cosmos）」

昨年6月15日に参議院にて法案が可決され、「死因究明推進法」、「警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律」の二法を成立させることができました。

さらに、二法成立により設置された内閣府「死因究明推進会議」、その下に設置された専門委員会に日本歯科医師会役員・法歯学会役員がメンバーとなるよう、働きかけを行い、実現することができました。

日本体育協会公認「スポーツセンター」の創設

スポーツ基本法の成立を受け、昨年3月にスポーツ基本計画が策定され、各項目に「歯学」の文言を入れることができました。さらに、日本歯科医師会・日本体育協会を中心に、「スポーツセンター」養成につき熱心に議論が進められ、7

国内では例を見ないデータを集積し、国内外情報を発信し、高い評価を受けているところですが、これらの事業評価も、ある面口ビ活動の成果と云って過言ではありませんが、

本会は本年4月から一般社団法人へ移行することを契機とし、会務機構改編による新しい執行体制の確立による新生「一般社団法人広島県歯科医師会」の船出となる輝かしい年を迎えました。

先達の先生方が築いてこられた歴史と伝統を継承しつつ、次世代の会員が夢と希望をもって歯科医療に取り組みむことができるよう、本連盟も本会と協力し全力を傾注して連盟活動を推進していく所存です。どうか連盟員の先生方には旧にも倍するご理解ご協力をお願い申しあげ、年頭に当たつてのご挨拶とさせていただきます。



月11日には日本体育協会の理事会にて、H25年度からの「日本体育協会公認スポーツメンテニス」の養成が決定され、「講習力キョウム」案がまとまりました。この分野に造詣が深く実績のある歯科医師の先生方が活躍、貢献できる機会が拡大されることは、スポーツ基本法制定の当初から関わった私にとっても大きな喜びであります。

意欲のある歯科医師の先生方が活躍できる環境整備も急務であり、私も引き続き活動してまいります。

**消費税増税問題**  
昨年6月15日には、社会保障・税一体改革に関する三党合意がなされ、医療機関のいわゆる「高額投資」について検討課題とすべきであると

の合意がなされました。中医協「診療報酬調査専門組織医療機関等における消費税負担に関する分科会」にて、控除対象外消費税の把握、高額投資・日常の仕入れにかかる増税、これまでの診療報酬補てんの有無・規模につき議論がなされていますが、歯科においては、高額投資よりも日常の仕入れにかかる増税が多い、基本的診療料（初診料）への補てんを行えば、明確な増税補てんが可能ということ踏まえ、消費税増税による歯科界への影響を最小にする方策を日歯・日歯連とともに検討し、その実行に努めてまいります。

**今後の活動**  
現在、議員になる前には思いもよらなかった新たな大きな目標が目の前に屹立しています。指導・監査・行政処分の問題を研究すれば研究するほど根拠法である「健康保険法」の改正が必要だと考えに至りました。保険指導は適正医療の推進が主題の一つですが、健康保険法実施のための省令である療養担当規則と診療報酬点数表を絶対視した指導が行われています。

指導が医療費削減の手段となり、全国各地で萎縮診療がおこっています。保険医の先生方を不安と混乱に陥れていることが現状を改善し、適正かつ必要な歯科医療の提供を図るために、根拠法である「健康保険法」の改正が、もう1期、立法府を目指す最大の目標となりました。

さらには、「労働安全

衛生法」や「身体障害者福祉法」、「地域保健法」、「健康増進法」、「介護保険法」そして何より身分法制である「歯科医師法」の法改正も目標であります。

明確な改正のガイジンと意図をもって、戦略を描き周到な準備と確かな行程を持って臨んでいきたいと思っております。

1期6年間の任期で終了したのでは、国会へお送り頂いた先生方のご期待に未だお応えしていません。私は全国の先生方から掛け頂いた期待と自らの使命を果たす義務と責任があります。是非、もう1期働かせて頂きたい、国民の方々から信頼され、尊敬される歯科医師を多くの若者が目指すような歯科医療政策その実現のために、働かせて頂きたいと思っております。

昨年10月31日、第117回臨時評議員会にて候補者としてのご推薦を決定して頂きました。これからは全国津々浦々を回り、一人でも多くの先生方にお会いし、今後、何を指していくのか力強くお話ししてまいります。

7月の第23回参議院通常選挙に向けて全身全霊を尽くして戦ってまいります。

広島県歯科医師連盟の先生方には、これまでの5年6か月、本当に温かいご支援とご指導を賜わりました。

これまで以上の温かさも厳しいご指導を賜りましよう、心よりお願い申し上げます。

# 大きな前進の年に

日本歯科医師連盟

会長 高木幹正



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素は日本歯科医師連盟の諸活動に大変ご理解・ご協力を賜っており、心より厚くお礼申し上げます。

さて現在わが国は、急速な人口減少・超高齢化によりあらゆる分野で諸制度の改革・見直しが迫られ、また国力の衰えから国際社会での地位低下も指摘されています。因みに、高齢化は中国などの新興国や発展途上

国で顕著となる見通しで、例外なくしかも確実に進み、各国は否応なく日本の背中を追うことになり、超高齢化対応の新しい社会システムづくりに日本がどう取り組み乗り越えるかが他の国の関心事となっております。

日本は成長社会から成熟社会へと移行する中で、様々な方向の価値や考え方が生じている。無数の接線を持つ曲線の時代ともいわれ、それらを受け止めた多様な発信が必要不可欠となっております。

国家の体力が緩やかに衰退していく中、何を大事にして、何を諦めるのか、価値観を擦り合わせるに、今後の方向性について国民的な合意を形成していかねばなりません。

昨年末、第46回衆議院

総選挙において、自民・公明が325議席を獲得して、再び政権の座に就くことになりました。米国の牧師ジェームス・F・クラークの「政治家は次の世代を考える」との言葉にあるように、経済・財政、エネルギー・原発、社会保障と税の一体改革、外交・安全保障など、どれ一つとっても国の命運を左右する重要な問題であり、今こそ政党は、手を結んで基本国策を共有し、政党の立場を超えて合意形成していくべきだと考えます。

とりわけ社会保障において、昨年8月「社会保障と税の一体改革関連法」が成立しましたが、消費税増税が先行し、年金改革や医療・介護改革など重要な課題は「社会保障制度改革国民会議」に委ねる形となり、今年の8月を目処に結論を出すことになっていきます。

そして世界でもトップクラスの長寿命国を維持している最大の要因である国民皆保険については、

高齢化に加え、技術革新や長寿化によっても自然に医療費が膨らみ、医療費の大半を負担する現役世代は耐えられなくなり、持続可能な医療保険制度としていくためには、基本姿勢としての「自助・共助・公助」論や保険者間の負担の公平化としての「医療保険制度の一元化」論など医療をめぐる受益と負担のバランスを考慮した抜本改革が必要で、私たち自身が皆保険は自分たちの財産であり大事に使わなければならないという自覚を持つことが大切だと考えます。

本年は、私も日本歯科医師連盟にとって、第23回参議院比例代表選挙に石井みどり氏を組織代表として擁立し、戦うべく後援会活動を積極的かつ強力に推進してまいります。

石井氏は2期目の挑戦です。初回チャレンジは平成19年の第21回参議院選挙で、約23万票を獲得して当選を果たされました。

皆様は、私も日本歯科医師連盟として、また国民の健康を守り、歯科医師の業権を守るための重要な課題ばかりであり、政治的アプローチなくして解決は不可能であると考えています。

会員の皆様が一致団結し結果を出すことが、組織力の強化ひいては効果的なロビー活動にもつながると思っております。ご尽力のほどお願い申し上げます。

皆様の益々のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

# 新年あけましておめでとうございます

外務大臣

衆議院議員 岸田文雄



広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、健やかに新しい年をお迎えになられましたことをお慶び申し上げます。また旧年中には大変貴重なご指導を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

昨年12月に第46回衆議院議員総選挙が行われ、広島県歯科医師連盟の皆様は暖かく力強いご支援を賜りまして、当選させていただきましたことができました。

国民の皆様の声と意思を十分に噛み締め、これからの政治の立て直しに全力を傾けたいと思っております。

まず立て直すべきは経済です。経済とは国の体力です。国の体力を早急に回復させ、国民の最大の関心事であります社会保障の再構築を進めていく。これが新政権に課された重大な使命だと考えます。

今年一年が広島県歯科医師連盟と皆様の良き年となりますよう、ご健康ご健勝をお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

# 「変革する時代への対応」

参議院自民党幹事長

参議院議員 溝手顕正



広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年12月に施行された衆院総選挙で自民党が勝利し再び政権を担うこととなりました。まずは民主党政権によって失われた経済、外交、教育を取り戻し新しい日本を作らなければなりません。私は総選挙で国民の皆様は約束手紙を交わした上で、領土問題への対応は国家の覚悟が問われているのです。さらに民主党政権で揺らいだ日米同盟は我が国外交の基軸として信頼関係を再構築していくことが重要であると考えます。いずれにせよ戦後の統治の経験と抑止力の確保は一国の政を配する上で非常に大事なことです。

費増税法案が成立しました。我が国の将来を考えたとき最も重要で喫緊の課題の一つであり自民党は以前から国民の皆様は訴えて参りました。

税収の安定は国の活力となり景気の上昇を生みますが増税は決して歓迎されるものではありません。しかし、私達は責任政党として我が国財政の危機から逃げることなく真正面からぶつかり国民の暮らしの安定と安心の実現のため、その負担に耐えなければなりません。今こそ様々な困難の中でも最低限の良識を失わない社会が求められています。まさに自民党が提言した「自助」を一人一人が意識する事こそがこの国を立て直す為の原動力です。

本年も皆様の生活が安心・安全で、幸せな暮らしでありますよう、皆様の目標に立って、いっその努力を続けて参ります。終わりに、皆様健康で幸せな一年でありますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# あけましておめでとうございます

衆議院議員

河井克行



広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、輝かしい平成25年の新春をお迎えになられたこと

を心よりお慶び申し上げます。

安倍晋三総裁を先頭にまったく新しく生まれかわった自民党が政権奪還を果たすため、党執行部の一人として、私は全力を尽くします。

本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年になりますことをお祈り申し上げます。



年頭所感

参議院議員 宮沢洋一



新年あけましておめでとうございませう。広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、新年をお元気に迎えのことと、心からお慶び申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。昨年末の総選挙では国民の皆様への信託をいただき自民党が勝利する事が出来ました。皆様のご支援に心から感謝申し上げます。

日本の経済再生に猶予の時はもはやありません。勝利に奢る事無く、一刻も早く安定した政治のもとで、長引くデフレを克服し、疲弊した地方経済を活性化しなければなりません。そのためには政策金融・政策投資などの財政金融面での支援を整備し、雇用の拡大を確実にする税制上の対応が必要で、被災地支援の税制上の特例を参考に、タイムリーな対応を取ることが再生の鍵となると考えます。

さて、昨年はロンドンオリンピックで胸のすくような日本人選手の活躍やIPS細胞研究の権威である中山教授のノーベル賞受賞など、震災後沈みがちな気持ちを励まされる事も多くあった年でした。中山教授の例を取るまでもなく、日本人の先進性、技術力、勤勉性、歴史に裏付けられた美意識は世界に誇れる資質であり、日本にある潜在能力を、国内外で発揮するための応援体制の整備も急がなければなりません。

今年の夏には参議院選挙も行われます。皆様のご理解とご支援を賜り、大きな勝利をつかみ取り、さらなる安定した政治を目指し、努力と精進を重ねてまいります。最後にになりましたが、会員皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。私の新年のご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございませう

参議院議員 西村まさみ



先生方におかれましては、新たな年の初めを迎え健やかに過ごされたこと、お慶び申し上げます。また、旧年中は、私の政治活動に對しまして格別のご指導ご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年(第180回通常国会)におきましては、社会保障と税の一体改革関連法案が可決成立いたしました。私も参議院社会保障と税の一体改革の特別委員に、民主党の中

で1年生議員としては唯一任命されました。7月11日に民主党会派を代表して参議院本会議において野田総理へ質問に立ち、また、20日には委員会において質問をいたしました。このような機会を頂戴しましたのも先生方のご支援の賜物と改めて感謝を申し上げます。内容は、歯科界だけではなく国民の皆様にとつて最も関心の高い消費税増税分の使い途について安住財務大臣に質問し、全額社会保障4経費に充てることと答弁を頂きました。また、社会保険診療報酬について消費税が非課税とされていますが、現行の診療報酬体系では、医療器具等の仕入れに係る消費税分を賄うことができ

ず、医療機関自らが消費税の負担を強いられ、引上げまで明確な手当を政府が講じるよう質問しました。これに対して、中協協会の分科会には、歯科医師を含めた専門家を、十分な意見聴取を行い、的確な対応をする必要があるとの回答を頂きました。11月に設置された国民会議においてもこの点についてしっかりと議論される必要があります。

また、平成25年度厚生労働省予算概算要求においては、財政状況が厳しい中、歯科の新規事業が盛り込まれ、歯科口腔保健の推進に関する法律を踏まえた口腔保健推進事業に9200万円、身元確認に資する診療情報標準化の検討やモデル事業を行う歯科診療情報活用に2100万円を要求しました。予算要望活動については大久保日歯

年頭のご挨拶

広島県知事 湯崎英彦



新年明けましておめでとうございませう。広島県歯科医師連盟の先生方にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より歯科医療を通じて県民の健康増進と公衆衛生の普及向上に多大なるご尽力を賜り、また本県行政へのご理解ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて私が知事に就任致しまして丸三年を迎え、一期目の任期も一年余りとなりました。この間「顔が見える県政」を第一の目標とし、私自身が県内各地へ足を運び、県民の皆様方から直接意見を伺い、県民の生活環境や地域づくりなどに取り組んでいくこととしております。また、県議会におきましても、議会改革具体化の一環として、昨年9月に「基本計画議決条例」を制定し、従来の予算や議案に加え、長期総合計画を議決対象に追加したほか、県政の主要な分野の方向性を定める各種計画についても積極的に関わっていくことといたしました。

今後とも、県民の皆様への負託と御期待に応えられ、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

広島県議会議長 林正夫



新年明けましておめでとうございませう。年頭に当たり、県議会を代表して一言御挨拶を申し上げます。広島県歯科医師連盟の皆様方には、希望に満ちた清々しい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から歯科医療を通じて、県民の健康増進と公衆衛生の普及向上に多大なるご尽力を賜り、また本県行政へのご理解ご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、我が国が置かれた状況を振り返ります。平成25年度厚生労働省予算概算要求においては、財政状況が厳しい中、歯科の新規事業が盛り込まれ、歯科口腔保健の推進に関する法律を踏まえた口腔保健推進事業に9200万円、身元確認に資する診療情報標準化の検討やモデル事業を行う歯科診療情報活用に2100万円を要求しました。予算要望活動については大久保日歯

平成25年新年にあたって

自由民主党広島県支部連合会 幹事長 宇田伸



新年あけましておめでとうございませう。広島県歯科医師連盟の皆様には、お健やかな新春を迎えられ、心からお慶び申し上げます。私たちが3年前大変厳しい審判を頂き、野に下りました。その後、今日まで、深い反省の下、国民目線で謙虚に皆様の声を聞き、

様々な党改革を行い、信頼の回復に努めて参りました。昨年末の衆議院議員総選挙におきまして、多くのご支持を頂き、政権奪還を果たすことが出来ましたことは、ひとえに広島県歯科医師連盟の皆様への、変わらぬご支援のおかげと感謝申し上げます。

現在、日本をとりまく情勢は大変厳しい状況にあり、円高などによる空洞化などの経済問題・安全保障・外交問題など、将来に向け重要な課題が山積しております。自民党は、昨年の総選挙にて

新年のご挨拶

広島県議會議員 石橋良三



新年明けましておめでとうございませう。広島県歯科医師連盟の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

本年は我が国が独立を回復して六十一周年に当たります。暦が一巡し、新しい時代に入っていく一年になるものと存じます。

私には、このような苦難の時にこそ私たちは先人

をお伺いし、県民起点、現場主義、成果主義を徹底して参りました。引き続きこの姿勢を貫き、更なる広島県の発展に尽力して参る所存でございます。

また忘れてはならないことは、広島県の力を最大限に引き出し、あらゆる分野で新たな活力を生み出し、本県を真に変革させる原動力となるのは、他でもない県民の皆様一人ひとりであります。将来にわたって「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と心から思える広島県を、県民の皆様とともに

実現して参ります。改めて、皆様の本県行政へのご協力御支援を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますように祈念申し上げます。

未筆ながら、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



# 県歯連盟推薦候補者全員当選

今回の衆院選（小選挙区）の投票率が59・32%となった。戦後最低だった1996年の59・65%を下回った。政権選択選挙として関心を集めて民主党が大勝した前回09年は69・28%で、小選挙区比例代表並立制が導入された96年以降では最高を記録していた。今回は10ポイント近く下落して、03年以降の60%割れとなった。当日有権者数は1億395万9866人で、このうち6166万9473人が投票した。

自民、民主二大政党が激突した256選挙区の戦績は、自民党が212議席と、民主党の27議席に大きく水をあげた。日本維新の会、みんなの党、日本未来の党の「第三極」は204選挙区で二大政党対決に絡んだが、議席を得たのはこのうち15選挙区にとどまった。自民党は、民主党との事実上の一騎打ちとみられていた52選挙区で44勝、これに対し、民主党は7勝だった。全300小選挙区のうち、2005年の

前々回に自民党が議席を得て、09年の前は民主党が勝利し、今回自民党が議席を奪い返したのは138選挙区。選挙のたびに自民党と民主党の当選者が入れ替わる「振り子現象」は半数近くに上がったことになる。

16日投票された衆院選小選挙区の中国地方5県の投票率は、いずれも戦後最低を記録した。5県では前回2009年よりも11・77、13・30ポイント下がった。各県の投票率は、広島56・76%

（前回69・32%） 山口は、戦後最低だった03年60・04%（同71・81%）岡山55・27%（同68・57%） 鳥根65・74%（同78・35%） 鳥取62・92%（同75・30%）だった。今回、5県では小選挙区比例代表並立制が導入された1996年以降、最多の8党が候補者を擁立。だが、前回の「政権選択選挙」、05年の「郵政選挙」のような明確な争点が出ず、有権者の関心が薄れた。前回の民主党躍進から一転、自民党が強さを見せた広島

対決をした広島2区では、自民党元職の平口洋氏が前回2009年の「政権選択選挙」で失った議席を奪還した。平口氏は、「民主党政権の政治主導は裏目に出た。官僚をうまくリードしたい」と決意を語った。広島3区は、自民党比例前職の河井克行氏が、小選挙区の自民党議席を取り戻し5度目の当選を果たした。河井氏は、「大勢の皆さんに支えていただいた」と頭を下げた。広島4区は、自民党新人の中川俊直氏が世襲批判をかわし、民主党前職の空本誠喜氏たちを制して初当

選した。「郷土の皆さんのおかげ。強い日本を取り戻す」と力強く決意を語った。広島5区は、自民党元職の寺田稔氏が、民主前職の三谷光男氏との4度目の対決を制し、再び咲きを果たした。「地域の再生に全力を尽くす」と決意を語った。広島6区は日本未来の党前職の亀井静香氏が12選を果たした。広島7区は、会社員から転身した自民党新人の小林史明氏が初陣を勝利で飾り、前回2009年の衆院選で失った議席を奪い返した。「必ず期待に応える」と決意を語った。比例代表

中国ブロック（定数11）は、自民党5議席、民主党2議席、日本維新の会2議席、公明党2議席が確定した。自民党は比例でも票を伸ばし、前回2009年の衆院選の4議席を上回った。民主党は前回の6議席から2議席に後退した。日本未来の党、みんなの党、共産党、社民党は議席を獲得できなかった。広島6区の自民党の小島敏文氏は比例で復活当選を果たした。全480議席が確定し、自民294議席、公明31議席で計325議席となり、政権を奪還。参院で否決された法案を衆院で

再可決できる3分の2を確保した。民主党は選挙前の230議席から激減し、旧民主党などが合流した1998年の結党以来、最低の57議席に落ち込んだ。参院は第1党で88人が所属しており、衆院が参院を下回る異例の構成となる。第三極勢力では、日本維新の会が54議席、みんなの党は18議席に伸ばした。日本未来の党は9議席にとどまった。共産党は8議席、社民党は2議席、新党大地と国民新党は各1議席。新党日本と新党改革は議席を獲得できなかった。

## 連盟会務報告

(平成24年3月31日～8月3日)

- 3・31 第51回自民党広島県連大会
- 第2回連盟理事会
- 第58回連盟評議員会
- 「石井みどり広島県後援会」及び「林正夫後援会」総会
- 福山市議会議員選挙告示日
- 4・1 日歯・日歯連盟役員連絡協議会
- 4・5 福山市議会議員選挙投票日
- 4・8 西村厚生労働副大臣と面談
- 4・12 岸田文雄新政治経済塾
- 4・14 小島敏文君を励ます会
- 4・15 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会
- 4・18 広島未来創造塾
- 4・21 広島未来創造塾
- 4・24 てらだ稔君を励ます会
- 5・1 連盟ニュース151号発行
- 5・10 日歯・日歯連盟役員連絡協議会
- 5・18 河村衆議院議員と面談
- 5・21 平口ひろし後援会世話人研修会
- 6・2 自民党広島県第一選挙区支部大会
- 6・4 河井克行ゆめづくりフォーラム
- 6・7 日歯・日歯連盟役員勉強会
- 6・14 ゆざき知事を囲む県政懇談勉強会
- 6・16 広島未来創造塾
- 7・5 日歯・日歯連盟役員連絡協議会
- 7・6 連盟監査
- 7・19 日歯連盟総務委員会
- 7・21 中川秀直代議士を励ます会
- 7・29 福山市長選挙告示日

平成24年度 第1回常任理事会

平成24年10月22日(月)午後7時から県歯会館4階「役員会議室」に於いて、標記会議が開催された。

山科会長は挨拶で歯科医療費を含めた医療費の動向分析の説明をされ、今後の歯科保健展望を踏まえた歯科保健施設について政策提言を行っていく必要性や、石井みどり議員の実績が評価され10月18日の選考委員会で18票を得て日歯連盟推薦候補者となったが、反対票の6票の重みも十分考慮して選挙に挑まなければなら

中国ブロック（定数11）は、自民党5議席、民主党2議席、日本維新の会2議席、公明党2議席が確定した。自民党は比例でも票を伸ばし、前回2009年の衆院選の4議席を上回った。民主党は前回の6議席から2議席に後退した。日本未来の党、みんなの党、共産党、社民党は議席を獲得できなかった。広島6区の自民党の小島敏文氏は比例で復活当選を果たした。全480議席が確定し、自民294議席、公明31議席で計325議席となり、政権を奪還。参院で否決された法案を衆院で

再可決できる3分の2を確保した。民主党は選挙前の230議席から激減し、旧民主党などが合流した1998年の結党以来、最低の57議席に落ち込んだ。参院は第1党で88人が所属しており、衆院が参院を下回る異例の構成となる。第三極勢力では、日本維新の会が54議席、みんなの党は18議席に伸ばした。日本未来の党は9議席にとどまった。共産党は8議席、社民党は2議席、新党大地と国民新党は各1議席。新党日本と新党改革は議席を獲得できなかった。

## 第1回常任理事会

平成24年度 第1回常任理事会

平成24年10月22日(月)午後7時から県歯会館4階「役員会議室」に於いて、標記会議が開催された。

山科会長は挨拶で歯科医療費を含めた医療費の動向分析の説明をされ、今後の歯科保健展望を踏まえた歯科保健施設について政策提言を行っていく必要性や、石井みどり議員の実績が評価され10月18日の選考委員会で18票を得て日歯連盟推薦候補者となったが、反対票の6票の重みも十分考慮して選挙に挑まなければなら

## 連盟支部だよ

安佐支部

9月4日(火)午後6時30分より広島市中区リーガロイヤルホテル4階「ロイヤル」で標記の会

衆議院議員・河井克行を応援する「企業・団体後援会」結成会開催

11月26日(月)午後6時より広島市中区メルパルク広島5階「椿」で標記の会が開催された。

## 種清和夫君の広島市議会議長就任を祝う会

9月4日(火)午後6時30分より広島市中区リーガロイヤルホテル4階「ロイヤル」で標記の会

衆議院議員・河井克行を応援する「企業・団体後援会」結成会開催

11月26日(月)午後6時より広島市中区メルパルク広島5階「椿」で標記の会が開催された。

## 衆議院議員・河井克行を応援する「企業・団体後援会」結成会開催

11月26日(月)午後6時より広島市中区メルパルク広島5階「椿」で標記の会が開催された。

衆議院議員・河井克行を応援する「企業・団体後援会」結成会開催

11月26日(月)午後6時より広島市中区メルパルク広島5階「椿」で標記の会が開催された。



第1回常任理事会 (10/22)

編集後記

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。昨年暮れの衆議院選挙に自民党は圧勝しました。今年の参議院選挙も圧勝してしまいました。民主党は仕分けで日本の目指すところは2番ではなせられないかと言っていた。国を2番目でもよいと考えている政党は選挙も2番目以下でいいのではないのかと問いたい。1番目を目標としている政党に政権をとってもらい、日本が1番を目指せる国にして欲しいと日本国民なら思はず。

前民主党政権時代、歯科界にとっては評価すべき一定の進展はありましたが、しかし国民全体にとっては目に見えての政策進展のないまま政治不信を募らせるばかりでした。ある意味おしい民主党なのかな。自民党政権に戻った途端に政治や経済が動き始めた感じであるが、景気回復の兆しだけで終わらないことを祈ります。

新年あけましておめでとうございます。昨年はやっと民主党から自民党が政権を奪い返し年末から円安、株価の上昇などで景気が良くなりそうです。7月の参議院選挙まであと少しとなりまして、石井参議院議員には是非頑張ってもらいたい。今年もよろしくお願ひいたします。(S)

新年明けましておめでとうございます。安倍首相は仕事始めの会合で「我々への期待は大きい。だからこそ期待を少しでも裏切れば参院選で勝利を得ることはできない」と挨拶している。石井みどり選挙のためにもテッポウ脱却、景気回復の取り組みに邁進して頂き、勝利に導いてもらいたい。(志)